

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2005 年 8 月 2 日

2005 年 7 月 31 日現在

3 週に亘り同州の気象は高温・乾燥気象であった。NC 地区及び NE 地区の最高気温は 95～101 度 F、Cent 地区では 89～99 度 F であった。降雨は少なく NC 地区では 1 週間の降水量は 0.00～0.10 インチ、NE 地区では 0.00～0.54 インチであった。1 週間の州平均農作業稼働日数は 6.9 日（前週：6.8 日）であった。小麦の収穫作業が進んだ。Topsoil、Subsoil 並びに Subsoil の水分は、“適”の圃場は昨年と 5 年平均より多いが、全体としては昨年並びに 5 年平均と比較し悪化した。

冬小麦は全州の 45%にて収穫が完了した。昨年並びに 5 年平均より大幅に早まった。春小麦は 82%の小麦が登熟期に入った（昨年同期：52%、5 年平均：71%）。春小麦の収穫が開始され、全州の 3%にて完了した。平年より早い進捗であった。冬小麦の作柄は前週より“Excellent”の評価が減少したが、昨年より良い状態を保った。春小麦の作柄評価も前週より全体に落ちた。春小麦の作柄は昨年並びに 5 年平均より良いと報告された。

USDA 発表 7 月 1 日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は 6 月 1 日付け予想より 2.0 bu/ac の増、43.0 bushels/acre となり、昨年実績を上回った。春小麦 (HRS) の生産量予想詳細は、単位収量：35.0 bu/ac（昨年実績：31.0 bu/ac）であつ。Durum は昨年実績より 1 bu/ac 少ない 32.0 bu/ac と発表された。詳細は別表の通り。

土壌水分：2005 年 7 月 31 日現在

Topsoil

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr. Ave.
Very short (%)	17	7	27	39
Short (%)	49	47	43	37
Adequate (%)	33	44	30	23
Surplus (%)	1	2	0	1

Subsoil

Very short (%)	13	10	36	43
Short (%)	47	36	36	38
Adequate (%)	39	53	27	19
Surplus (%)	1	1	1	0

小麦生育状況：7 月 31 日現在

次ページへ

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr Ave.
Winter Wheat Harvested(%)	45	4	10	35
Spring Wheat Turning (%)	82	49	52	71
Harvested(%)	3	0	4	0
Durum Wheat Turning(%)	48	47	18	NA

冬小麦作柄状況：7月31日現在

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave.
Very Poor (%)	0	0	6	NA
Poor (%)	3	4	12	NA
Fair (%)	21	17	30	NA
Good (%)	53	46	40	NA
Excellent(%)	23	33	12	NA

春小麦作柄状況：7月31日現在：

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave
Very poor (%)	3	1	6	12
Poor (%)	5	4	10	18
Fair (%)	19	20	29	31
Good (%)	55	59	49	32
Excellent (%)	18	16	6	7

Source: Montana Agricultural Statistics Service

7月1日付け USDA 発表の冬小麦生産量予想：

State Crop	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
MT	1,630	2,050	41.0	41.0	43.0	66,830	88,150
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付け USDA 発表 HRS 及び Durum 小麦生産量予想：

Class	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
HRS	2,850	2,500	31.0	—	35.0	88,350	87,500
Durum	545	560	33.0	—	32.0	17,985	17,920

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃： <mailto:ogawa.max@omicnet.com>